

◇ストリートカット競技規則（茨城県大会用）

(1) トレンドスタイル

この課題は、必ずカールパーマ（ストレートパーマは禁止）、カラーリングを事前に施したモデルに対し、カット及びブローによりトレンドヘアスタイルを制作するもので、審査は全体的なトータルバランスで行うものとする。ヘアスタイル制作にあたって、作品に独自の創造性、発信性、ファッション性が表現されるものとする。

仕上がりは芸術的であったり、凝り過ぎていてはならず、また、スプレーをかけ過ぎてはならない。カラー及びデザインは、極端であってはならない。

審査は、技術性ならびメイク、ファッションとの調和をトータルで行う。

（ヘアスタイル80点、メイク・ファッション等20点の総合100点満点）

※本競技はモデルウィッグを使用して行う。モデルウィッグは自由とする。（全国大会はモデル使用）

《出場資格》 茨城県内に居住または勤務し、エントリー料を納付して選手登録を完了した美容師である事。

(2) 競技時間 40分

(3) 競技に関する制限及び禁止事項（違反した場合は、減点もしくは失格となる。）

※トータル審査の為 衣装のイメージ写真（ボディ、人体に着用させたもの）またはデッサン（色も塗る）を事前に準備し当日持参する（A4サイズ）

- ① 選手の服装は、競技に相応しいものとし、上衣は襟付きの白いもの、下は黒又は濃紺のスカート又はスラックスとする。（ミニスカートは禁止とする。）靴は、ピンヒール厳禁としヒールの低いものとする。ブーツ、サンダルは不可。帽子等に類する物は禁止する。
- ② 競技中、選手同士又は観客と会話等をしてはならない。
- ③ 競技中、用具の貸し借りをしてはならない。
- ④ 競技中、他の選手に迷惑をかけるような言動、及び監視委員の指示に従わない行為は、退場を命じることがある。
- ⑤ モデルウィッグの髪は、競技開始前に完全に濡らし、オールバックにシェープして、髪が濡れた状態からカットに入らなければならない。
- ⑥ カットは、全頭5cm以上カットしなければならない。
- ⑦ 万力は、競技中机に固定しておかななければならない。（万力は選手が持参すること。）
- ⑧ 競技終了後、作品にピンを残してはならない。
- ⑨ 競技終了後、選手はモデルウィッグに一切触れてはならない。
- ⑩ 競技終了後、選手は直ちに器具その他のものを持って退場しなければならない。
- ⑪ 審査中、モデルウィッグは固定された万力の上に置き、指示された方向に向けなければならない。
- ⑫ 全体の1/3以上のパーマ（根元、中間、毛先の範囲は問わないがストレートパーマは認めない）が施されていて仕上がりに反映されてなければならない。
- ⑬ ヘアピース、ウィッグ、つけ毛（エクステンション）、ヘアアクセサリは禁止する。
- ⑭ イヤリング、ネックレス類の使用可。但し、競技時間内に装着する。
- ⑮ 結び上げ・まとめ髪は禁止する。
- ⑯ “ネオン”カラー（蛍光をともなった色）を除きカラーの選定は自由である。ただし、極端なものであってはならない。
- ⑰ カラースプレーは禁止する。（ラメ入りも禁止する。）
- ⑱ モデルウィッグへのメイクは自由とする。ただし、タトゥー（絵）等は禁止する。

- ⑱ 整髪料は自由とする。
- ⑳ モデルウィッグに洋服は取り付けない。(首にスカーフを巻くことも禁止する。)
- ㉑ 競技に必要なすべての器具の使用を認める。ただし、シザーケース(施術中に腰やベルトに下げてはさみ等器具を収納する革製等のケース)は禁止する。
- ㉒ 電源は1人1.2kwまでとし、コンセントは1口用である。(2口用コンセントは禁止とする。)
- ㉓ 控室で電源の使用は禁止する。

[注]モデルウィッグ、ドライヤー等の消費電力は、大会当日の朝、競技前に監視委員が厳重に点検を行う。
※競技および表彰式に際して、ピンヒールなど踵の細い靴は登壇厳禁ですのでご配慮ください。

◇カット&ブロー競技の部(茨城県大会用)

(1) モードスタイル

この課題は、モードスタイルを制作するものである。ヘアスタイル制作にあたって技術性を重視し、作品に独自の創造性、ファッション性が表現されるものとする。

※本競技はモデルウィッグを使用して行う。モデルウィッグは自由とする。(全国大会は指定ウィッグ)

《出場資格》 茨城県内に居住または勤務し、エントリー料を納付して選手登録を完了した美容師である事。

(2) 競技時間・・・・・・40分

(3) 競技に関する制限及び禁止事項 (違反した場合は、減点もしくは失格となる。)

- ① 競技はモデルウィッグを使用して行う。
- ② 選手の服装は、競技に相応しいものとし、上衣は襟付きの白いもの、下は黒又は濃紺のスカート又はスラックスとする。(ミニスカートは禁止とする。) 靴は、ピンヒール厳禁としヒールの低いものとする。
ブーツ、サンダルは不可。帽子等に類する物は禁止する。
- ③ 競技中、選手同士又は観客と会話等をしてはならない。
- ④ 競技中、用具の貸し借りをしてはならない。
- ⑤ 競技中、他の選手に迷惑をかけるような言動、及び監視委員の指示に従わない行為は、退場を命じることがある。
- ⑥ モデルウィッグの髪は、競技ステージで競技開始前に完全に濡らし、オールバックにシェープしておく。選手は髪が濡れた状態からカットに入らなければならない。
- ⑦ 万力は、競技中機の指定された側に固定しておかななければならない。(万力は選手が持参し、目印等をつけてはならない。)
- ⑧ 競技終了後、作品にピンを残してはならない。
- ⑨ 競技終了後、選手はモデルウィッグに一切触れてはならない。
- ⑩ 競技終了後、選手は直ちに器具その他のものを持って退場しなければならない。
- ⑪ 審査中、モデルウィッグは固定された万力の上に置き、指示された方向に向けなければならない。
- ⑫ 事前カットは一切認めない。
- ⑬ “ネオン” カラー (蛍光をともなった色) を除き、カラーの選定は自由である。
- ⑭ カラースプレーは禁止する。(ラメも禁止する。)
- ⑮ モデルウィッグへのパーマ、メイクは自由とする。ただしタトゥー (絵) 等は禁止する。
- ⑯ ヘアピース、ウィッグ、ヘアアクセサリは禁止する。
- ⑰ イヤリング、ピアス類は使用可能であるが、競技時間内に着けなければならない。(イヤリングはヘムラインより上がってはならず、ウィッグの台座より下がってはならない。)
- ⑱ モデルウィッグに洋服は取り付けはならない。(首にスカーフを巻くことも禁止する。)
- ⑲ ウィッグへの印、ピン打ち等は禁止する。ただし、イヤリングを留めるためのピンは可とする。
- ⑳ 整髪料は自由とする。
- ㉑ 競技に必要なすべての器具の使用を認める。ただし、シザーケース (施術中に腰やベルトに下げてはさみ等器具を収納する革製等のケース) は禁止する。
- ㉒ 電源は1人1.2kwまでとし、コンセントは1口用である。(2口用コンセントは禁止とする。)
- ㉓ 控室に電源の設備はない。

[注] モデルウィッグ、ドライヤー等の消費電力は、大会当日の朝、競技前に監視委員が厳重に点検を行う。

※競技および表彰式に際して、ピンヒールなど踵の細い靴は登壇厳禁ですのでご配慮ください。

◇ヘアスタイル競技の部(茨城県大会用)

(1) クリエイティブ・ファッション

この課題は、ブローテクニックを最大限に活用して、感性に富んだ独自の創造性・ファッション性・芸術性が表現され、進歩的なヘアスタイルを制作するものである。

※本競技は指定されたモデルウィッグを使用して行う。(ユーカリジャパン YJ/20-386)

《出場資格》 茨城県内に居住または勤務し、エントリー料を納付して選手登録を完了した美容師である事。

(2) 競技時間 ・ ・ ・ ・ ・ 25分

(3) 競技に関する制限及び禁止事項 (違反した場合は、減点もしくは失格となる。)

- ① 競技は連合会が指定するモデルウィッグを使用して行う。
- ② 選手の服装は、競技に相応しいものとし、上衣は白いもの、下は黒又は濃紺のスカート又はスラックスとする(ミニスカートは禁止する。)靴は、ヒールの低いものとする。ブーツ、サンダルは不可。帽子等に類する物は禁止する。
- ③ 競技中、選手同士又は観客と会話等をしてはならない。
- ④ 競技中、用具の貸し借りをしてはならない。
- ⑤ 競技中、他の選手に迷惑をかけるような言動、及び監視委員の指示に従わない等の行為は、退場を命じることがある。
- ⑥ モデルウィッグの髪は、事前にシャンプーを済ませ、毛髪を乾かした状態(仕上げの形付けのための整髪料、カーラー、ピン類がついていてはならない)で持参すること。髪を濡らす場合は、競技ステージで競技開始前に行わなければならない。
- ⑦ 万力は、競技中機の指定された側に固定しておかなければならない。(万力は選手が持参し、目印をつけてはならない。)
- ⑧ 競技終了後、作品にピンを残してはならない。
- ⑨ 競技終了後、選手はモデルウィッグに一切触れてはならない。
- ⑩ 競技終了後、選手は直ちに器具その他のものを持って退場しなければならない。
- ⑪ 審査中、モデルウィッグは固定された万力の上に置き、指示された方向に向けなければならない。
- ⑫ 結い上げ・まとめ髪は禁止する。
- ⑬ “ネオン”カラー(蛍光をともなった色)を除き、カラーの選定は自由である。
- ⑭ カラープレーは禁止する。(ラメ入りも禁止する。)
- ⑮ ヘアピース、ヘアアクセサリは禁止する。
- ⑯ イヤリング、ピアス類は使用可能であるが、競技時間内(25分)に着けなければならない。(イヤリングはヘアラインより上に上がってはならず、ウィッグの台座より下がってはならない。)
- ⑰ メイクは自由とする。ただし、タトゥー(絵)等は禁止する。
- ⑱ モデルウィッグに洋服は取り付けてはならない。(首にスカーフを巻くことも禁止する。)
- ⑲ ウィッグの印、ピン打ち等は禁止する。ただし、イヤリングを留めるためのピンは可とする。
- ⑳ 競技に必要なすべての用具の使用を認める。ただし、シザーケース(施術中に腰やベルトに下げてはさみ等器具を収納する革製のケース)は禁止する。
- ㉑ 電源は1人1.2kwまでとし、コンセントは1口用である。(2口用コンセントは禁止する。)
- ㉒ 控室で電源の使用は禁止する。

[注]モデルウィッグ、ドライヤー等の消費電力は、大会当日の朝、競技前に監視委員が厳重に点検を行う。

※競技および表彰式に際して、ピンヒールなど踵の細い靴は登壇厳禁ですのでご配慮ください。

◇中振袖着付競技規則(茨城県大会用)

(1) 通常成人式のとき用いられるもので、袋帯(六通または全通)を使用したもの。

競技は、「ボディ修正、長襦袢着付」までの作業と「振袖着付、帯結び」の作業に分けて行う。

※本競技はボディを使用して行う。

※全国大会は全国大会規則に基づいて行う。

《出場資格》 茨城県内に居住または勤務し、エントリー料を納付して選手登録を完了した美容師である事。

(2) 競技時間 襟とじ・・・長襦袢に衿芯(和紙)を入れ、襟とじは事前に完了させて会場入りすること。
補正・長襦袢着付までの作業 20分
振袖着付帯結びの作業 20分

(3) 競技に関する制限及び禁止事項 (違反した場合は、減点もしくは失格となる。)

- ① 競技中、選手同士・観客と会話等をしてはならない。
- ② 競技中、用具の貸し借りをしてはならない。
- ③ 競技中、他の選手に迷惑をかけるような言動、及び監視委員の指示に従わない等の行為は、退場を命じることがある。
- ④ 帯に形付けをしたり、帯結びの過程につながる過度のたたみ方をしておくことは認めない。
- ⑤ 帯や着物などに糸印をつけておくことは認めない。
- ⑥ 極端に完成されたボディ修正器具の使用は認めない。
- ⑦ ボディ補整のパットやタオルはとじ付けてあってはいけない。
- ⑧ 帯のアクセサリは認めない。
- ⑨ おはしより芯の使用は認めない。
- ⑩ 袖の鍾用の板紙等の使用は認めない。
- ⑪ ものさし類の使用は認めない。(目盛付クリップの目盛部分なども含む)
- ⑫ 競技終了後、選手は作品に一切触れてはならない。
- ⑬ 助手の使用は一切認めない。(ただし、競技用具の搬出入のために、係員の指示に従って助手を指定した場所まで立ち入りさせることはさしつかえない。)
- ⑭ 選手の服装は、競技に相応しいものとし、上衣は白いもの、下は黒又は濃紺のスカート又はスラックスとする。(ミニ丈は禁止とする。)靴は、ヒールの低いものとする。(ブーツ、サンダル、ピンヒール不可)また、帽子等に類する物は禁止する。靴下またはストッキングを必ず着用すること。
- ⑮ 帯結びの形については、最近2年間の全日本美容講師会TMモード(第102回H29.9.26「未輝」「光鱗」、第101回H28.9.6「天恵」「うらら」)で発表した帯結びの中から選ぶこと。(アレンジは不可)
- ⑯ 帯あげは入りの字型とする。
- ⑰ 帯じめは、中心で結ぶこと。
- ⑱ 前身頃の衿の縫目と「おはしより」の縫目はそろえること。

[衣装持ち込みに際しての禁止事項]

(a) 中 振 袖

- ① 身幅にアールをつけて胴部を絞った仕立ては認めない。
- ② 芯を入れるなどの加工をしてはならない。
- ③ 袖付にあて布があってはいけない。

(b) 長 襦 袢

- ① 衿は、三河芯に半衿をつけたもの以外は認めない。その他、特別に考案・加工された、特殊な型式のものも認めない。
- ② 半衿は白無地とする。
- ③ 上下セパレートのもの認めない。
- ④ 巡礼衿は認めない。
- ⑤ 後衿の力布は、あってはいけない。

(c) 帯

- ① 特定のひだの折り癖が強くつけられているものは認めない。

(d) 着付小物

- ① コーリンベルトの使用は認めない。

[注] 競技用具は、大会当日の朝、競技前に監視委員が厳重に点検を行う。

《そ の 他》

- ① アイロンは使用できない。
- ② 控室で電源の使用は禁止する。
- ③ 競技終了後、選手は直ちに器具その他のものを持って退場しなければならない。
- ④ 競技時間内に出来ていないもの(クリップの取り忘れ等)は未完成とし、審査はしない。

《準備するもの》

- (a) ①中振袖 ②重ね衿又は伊達衿 ③袋帯(六通または全通)
④長襦袢(長襦袢の衿は三河芯にして、三河芯幅に半衿をつけたもの。)
⑤帯じめ、帯あげ
⑥衣裳箱(赤色で高さ18cm位の一般的に使用されているもの。)
- (b) 小物付属品「肌襦袢、裾よけ又はワンピース型肌着、腰ひも、ゴム仮ひも(寿仮ひも可)、伊達巻き(2本)、ボディ修正用具(綿花、タオル、さらし又はガーゼ)帯枕、帯板、カラーバンド又は輪ゴム、クリップ類、衿芯(長襦袢及び着物用として和紙<半紙、障子紙、奉書紙>を使用のこと。)」

※競技および表彰式に際して、ピンヒールなど踵の細い靴は登壇厳禁ですのでご配慮ください。

◇留袖着付 競技規則（茨城県大会用）

(1) 留袖(江戸褌)着付

競技ボディを使用し、「ボディ修正、長襦袢着付」までの作業と「江戸褌着付、帯結び」に分けて行う。

《出場資格》 茨城県内に居住または勤務し、エントリー料を納付して選手登録を完了した美容師である事。

(2) 競技時間

襟とじ・・・長襦袢に衿芯を入れ、襟とじは事前に完了させて会場入りすること。

補正、長襦袢着付までの作業 20分

江戸褌着付、帯結びの作業 20分

(3) 競技に関する制限及び禁止事項（違反した場合は、減点もしくは失格となる。）

- ① 帯に形付けをしたり、帯結びの過程につながらる過度のたたみ方をしてはならない。
- ② 着物や帯などに糸印などの目印となるものを付けてはならない。
- ③ 袖を整えるために、錘用の板紙等を使用してはならない。
- ④ 競技に際し、助手の使用は認めない。（ただし、競技用具の搬出入のために助手を控室に立ち入らせることは差し支えない）
- ⑤ 競技中、選手同士又は観客との会話や指示を受ける等の行為を禁止する。
- ⑥ 競技中、競技用具の貸し借りは認めない。
- ⑦ 競技に際し、他の出場者や専門委員に迷惑な行為をしたり、大会委員の指示に従わない時には失格とする場合がある。
- ⑧ 選手の服装は、競技に相応しいものとし、上衣は白いもの下は黒又は濃紺のスカート又はスラックスとする（ミニ丈は禁止する。）。靴は、ヒールの低いものとする。（ブーツ、サンダル、ピンヒール不可）また、帽子等に類する物は禁止する。靴下またはストッキングを必ず着用すること。
- ⑨ 帯結びの型については、二重太鼓とする。比翼の出し方が揃っていること。
- ⑩ 背中線が揃っていること。
- ⑪ 衿の線が揃っていること。
- ⑫ 帯あげは出来上がり（結び型）を中央に納める。
- ⑬ 着丈は裾が床すれすれとなっていること。
- ⑭ 競技に関する禁止及び制限事項に違反した場合は、減点もしくは失格となる。
- ⑮ 末広を使用する。
- ⑯ コーリンベルトの使用可。
- ⑰ ものさし類の使用は認めない。（目盛付クリップの目盛り部分なども含む）
⑱ 小物類への記名も不可。（記名箇所が目盛とみなされます）

※補正について、タオル、ガーゼ等を縫い合わせるなどして加工したものの使用は認めない。

《その他》

- ① アイロンは使用できない。
- ② 控室で電源の使用は禁止する。
- ③ 競技終了後、選手は直ちに器具その他のものを持って退場しなければならない。
- ④ 競技時間内に出来ていないもの（クリップの取り忘れ等）は未完成とし、審査はしない。

※競技および表彰式に際して、ピンヒールなど踵の細い靴は登壇厳禁ですのでご注意ください。

◇ネイルアート競技の部

(1) ネイルアート

この課題は、テーマに沿ってネイルチップに細やかで品性を保ち、感性に富んだ独自の創造性・芸術性のある作品を制作するものである。

作品（ネイルチップ）は事前に提出し、審査を行う。（未発表作品に限る）

《出場資格》 茨城県内に居住または勤務する美容師ならび美容学生で、エントリー料を納付し選手登録を完了した者。

<テーマ>

- 一般 「プレイフル・ビューティ」
- 学生 「学生大会のテーマに準じる」

(2) 作品の提出等

- ① 作品は選手1名につき1個とする。
- ② 提出用BOXに作品を入れて、茨城県美容組合へ送付(7月10日必着)

(3) 競技に関する制限及び禁止事項(違反した場合は、減点もしくは失格となる)

- ① ネイルチップは、提出用BOXに両面テープで固定し、期日までに送付しなければならない。(送付時にチップが外れないように固定すること。外れた場合やBOXの破損はそのままの状態での審査となる。)
- ② BOX・台紙への装飾は禁止する。(スポンジは抜かず、台紙は無地単色とし、単色であれば塗装も可とする。グラデーションは不可)
- ③ 10枚(学生は5枚)のネイルチップに絵の具を使用してフラットアートを施す。(形はスクエアオフ、長さはBOXに納まる長さとする)
- ④ 著作権を侵害する作品(キャラクター等)は禁止する。ストーン、ブリオン、ラメ、ホログラムの使用可。(個数制限はないが、原則としてフラットアートをメインとする。)
- ⑤ 仕上げはトップコートまでとする。
- ⑥ 使用を禁止するもの
3D、エンボス、ピアス、テープ、シール、エアブラシ、ウォーターマーブル

(4) 審査基準

テーマに沿った作品であり、細やかで品性を保ったデザインであり、感性に富んだ独自の創造性・芸術性が表現されているかを審査する。

－審査項目－

- ① テーマに沿った表現
- ② カラーハーモニー
- ③ オリジナリティ
- ④ 仕上がり・完成度

※表彰式に際して、ピンヒールなど踵の細い靴は登壇厳禁ですのでご配慮ください。

作品送付先 〒310-0817 水戸市柳町1-13-21
茨城県美容組合・大会事務局

◇オリジナルアップ競技 一般の部（茨城県大会用）

（1）アップスタイル

この課題は、オリジナルセットを制作するものである。ヘアスタイル制作にあたって技術性を重視し、作品に独自の創造性、ファッション性が表現されるものとする。

※本競技はモデルウィッグを使用して行う。

《出場資格》 茨城県内に居住または勤務し、エントリー料を納付して選手登録を完了した美容師である事。

《テーマ》 パーティヘア

（2）競技時間・・・・・・30分

（3）競技に関する制限及び禁止事項（違反した場合は、減点もしくは失格となる。）

- ① モデルウィッグは自由とするが、毛髪の長さは50cmまでとする。
- ② 事前にローラーなどのセットは済ませずした状態で競技を開始する
- ③ ブロッキングを行う場合は、競技時間内に行うこととする。
- ④ 選手の服装は、競技に相応しいものとし、上衣は襟付きの白いもの、下は黒又は濃紺のスカート又はスラックスとする。（ミニスカートは禁止とする。）靴は、ピンヒール厳禁としヒールの低いものとする。ブーツ、サンダルは不可。帽子等に類する物は禁止する。
- ⑤ 競技中、選手同士又は観客と会話等をしてはならない。
- ⑥ 競技中、用具の貸し借りをしてはならない。
- ⑦ 競技中、他の選手に迷惑をかけるような言動、及び監視委員の指示に従わない行為は、退場を命じることがある。
- ⑧ 万力は、競技中机の指定された側に固定しておかなければならない。（万力は選手が持参し、目印等をつけてはならない。）
- ⑨ 競技終了後、選手はモデルウィッグに一切触れてはならない。
- ⑩ 競技終了後、選手は直ちに器具その他のものを持って退場しなければならない。
- ⑪ 審査中、モデルウィッグは固定された万力の上に置き、指示された方向に向けなければならない。
- ⑫ “ネオン”カラー（蛍光をともなった色）を除き、カラーの選定は自由である。
- ⑬ カラー Sprey は禁止する。（ラメも禁止する。）
- ⑭ モデルウィッグへのパーマ、メイクは自由とする。ただしタトゥー（絵）等は禁止する。
- ⑮ ヘアアクセサリーの使用可。但し、頭部全体の1/4以上を覆ってはならない。
- ⑯ エクステンション、ヘアピース、ポステッシュ等、髪に類したものの使用は不可。
- ⑰ ネックレス、イヤリングの使用可。但し、競技時間内に装着すること。
- ⑱ 整髪料は自由とする。
- ⑲ 競技に必要なすべての器具の使用を認める。ただし電源の使用はできない。
- ⑳ 控室に電源の設備はない。

[注] モデルウィッグは、大会当日の朝、競技前に監視委員が厳重に点検を行う。

※競技および表彰式に際して、ピンヒールなど踵の細い靴は登壇厳禁ですのでご配慮ください。

◇オリジナルアップ競技 学生の部(茨城県大会用)

(1) アップスタイル

この課題は、オリジナルセットを制作するものである。ヘアスタイル制作にあたって技術性を重視し、作品に独自の創造性、ファッション性が表現されるものとする。

※本競技はモデルウィッグを使用して行う。

《出場資格》 茨城県内の美容学校在学生・通信生等、美容師免許未取得者でエントリー料を納付して選手登録を完了したもの。

《テーマ》 全国理容美容学生大会に準じる

(2) 競技時間・・・・・・30分

(3) 競技に関する制限及び禁止事項（違反した場合は、減点もしくは失格となる。）

- ① モデルウィッグは自由とするが、毛髪の長さは50cmまでとする。
- ② 事前にローラーなどのセットは済ませずした状態で競技を開始する
- ③ ブロッキングを行う場合は、競技時間内に行うこととする。
- ④ 選手の服装は、競技に相応しいものとし、上衣は白いもの、下は黒又は濃紺のスカート又はスラックスとする。（ミニスカートは禁止とする。）靴は、ピンヒール厳禁としヒールの低いものとする。ブーツ、サンダルは不可。帽子等に類する物は禁止する。
- ⑤ 競技中、選手同士又は観客と会話等をしてはならない。
- ⑥ 競技中、用具の貸し借りをしてはならない。
- ⑦ 競技中、他の選手に迷惑をかけるような言動、及び監視委員の指示に従わない行為は、退場を命じることがある。
- ⑧ 万力は、競技中機の指定された側に固定しておかななければならない。（万力は選手が持参し、目印等をつけてはならない。）
- ⑨ 競技終了後、選手はモデルウィッグに一切触れてはならない。
- ⑩ 競技終了後、選手は直ちに器具その他のものを持って退場しなければならない。
- ⑪ 審査中、モデルウィッグは固定された万力の上に置き、指示された方向に向けなければならない。
- ⑫ “ネオン”カラー（蛍光をともなった色）を除き、カラーの選定は自由である。
- ⑬ カラーズプレーは禁止する。（ラメも禁止する。）
- ⑭ モデルウィッグへのパーマ、メイクは自由とする。ただしタトゥー（絵）等は禁止する。
- ⑮ ヘアピース、ウィッグ、ヘアアクセサリは禁止する。
- ⑯ 使用するゴム、ピンは黒または透明とする。
- ⑰ 整髪料は自由とする。
- ⑱ 競技に必要なすべての器具の使用を認める。ただし電源の使用はできない。
- ⑲ 控室に電源の設備はない。

[注] モデルウィッグは、大会当日の朝、競技前に監視委員が厳重に点検を行う。

※競技および表彰式に際して、ピンヒールなど踵の細い靴は登壇厳禁ですのでご配慮ください。

◇ワインディング競技規則

- (1) この競技は、国家試験ワインディング課題のスタイルで行う。
- (2) 競技時間 チャレンジ部門：20分
 アチーブメント部門：20分
- (3) 出場資格 チャレンジ部門：美容学校生・通信生等、免許未取得者
 アチーブメント部門：免許取得から3年未満の美容師
- (4) 競技に関する制限及び禁止事項（違反した場合は、減点もしくは失格となる。）
- ① 競技するモデルウィッグの指定はなし。
 - ② 整髪料は不可。
 - ③ 水濡らしの水にリンス材を入れて使用してもよい。
 - ④ モデルウィッグに印（点や線など）を付けてはならない。
 - ⑤ モデルウィッグに薬液処理（パーマ・ヘアカラー等）を行ってはならない。
 - ⑥ 選手の服装は、競技に相応しいものとし、上衣は白いもの、下は黒又は濃紺のスカート又はスラックスとする。（ミニスカートは禁止とする。）靴は、ピンヒール厳禁としヒールの低いものとする。ブーツ、サンダルは不可。帽子等に類する物は禁止する。
 - ⑦ 競技中、選手同士又は観客と会話等をしてはならない。
 - ⑧ 競技中、用具の貸し借りをしてはならない。
 - ⑨ 競技中、他の選手に迷惑をかけるような言動、及び監視委員の指示に従わない行為は、退場を命じることがある。
 - ⑩ モデルウィッグの髪は、競技開始前に完全に濡らし、オールバックにシェープしておく。
 - ⑪ 万力は、競技中机に固定しておかなければならない。（万力は選手が持参すること。）
 - ⑫ 競技終了後、選手はモデルウィッグに一切触れてはならない。
 - ⑬ 競技終了後、選手は直ちに器具その他のものを持って退場しなければならない。
 - ⑭ 審査中、モデルウィッグは固定された万力の上に置き、指示された方向に向けなければならない。
 - ⑮ フロントでは正中線から4cm左サイドの生え際の地点をF点、正中線上では生え際から奥行き7cmの部分でF'点として、FからF'点に向けて斜めにパートを分け取る。センター～ゴールデンポイント～ネープに至る部分は後方に巻き、斜めパートの左側は左斜め後方に、右側は右斜め後方に巻き、両サイドの耳上部分は下方向に巻く。
 - ⑯ ロッドは13mm～13.5mmから以下、太さの異なる4種類以上を使用し、50本以上55本以内で巻く。
 - ⑰ 使用する輪ゴムは1本1重とし、ロッド中央に平行に掛ける。
 - ⑱ その他、この規則に定ない事項については、大会実行委員会ならび専門委員会の協議をもって対処する。

[注] モデルウィッグは、大会当日の朝、競技前に監視委員が厳重に点検を行う。

※競技および表彰式に際して、ピンヒールなど踵の細い靴は登壇厳禁ですのでご配慮ください。

◇フリースタイル カット部門 競技規則

- (1) 自身の表現したいスタイルをカット&スタイリングのみの技術で、電源を使用しない器具を使い競技を行う。(電源を使わない充電式器具の使用可)
パーマ、カット等、技法にとらわれず、アクセサリ、メイクなどすべて自由とする。カットを除く事前の仕込み可。作品の独自性、創造性が審査のポイントとなる。

※本競技はモデルウィッグを使用して行う。モデルウィッグは自由とする。

《出場資格》 茨城県内に居住または勤務し、エントリー料を納付して選手登録を完了した美容師である事。

- (2) 競技時間・・・・・・40分

(3) 競技に関する制限及び禁止事項 (違反した場合は、減点もしくは失格となる。)

- ① 選手の服装は、競技に相応しいものとし、上衣は襟付きの白いもの、下は黒又は濃紺のスカート又はスラックスとする。(ミニスカートは禁止とする。) 靴は、ピンヒール厳禁としヒールの低いものとする。ブーツ、サンダルは不可。帽子等に類する物は禁止する。
- ② 競技中、選手同士又は観客と会話等をしてはならない。
- ③ 競技中、用具の貸し借りをしてはならない。
- ④ 競技中、他の選手に迷惑をかけるような言動、及び監視委員の指示に従わない行為は、退場を命じることがある。
- ⑤ 競技前の髪はウエットでもドライでも可。
- ⑥ 事前カットは一切認めない。
- ⑦ 競技中に髪は全頭5cm以上カットしなければならない。(セニングのみのカットは不可。)
- ⑧ 競技中に電源を使用しないすべての器具を認める。ただし、シザーケース(施術中に腰やベルトに下げてはさみ等器具を収納する革製のケース)は禁止する。
- ⑨ 万力は、競技中机に固定しておかなければならない。(万力は選手が持参すること。)
- ⑩ ヘアピース・かつら・ヘアアクセサリなどの使用は禁止する。
- ⑪ イヤリング・ネックレス等のアクセサリ、または洋服等の装飾品は使用可能であるが、競技時間内に着けなければならない。
- ⑫ パーマ及びヘアカラーリングは自由とする。
- ⑬ 競技終了後、選手はモデルウィッグに一切触れてはならない。
- ⑭ 競技終了後、選手は直ちに器具その他のものを持って退場しなければならない。
- ⑮ 審査中、モデルウィッグは固定された万力の上に置き、指示された方向に向けなければならない。
- ⑯ 控室で電源の使用は禁止する。

※競技および表彰式に際して、ピンヒールなど踵の細い靴は登壇厳禁ですのでご配慮ください。

◇メイクマスク競技の部

(1) メイクマスク

この課題は、当組合指定のメイク用マスクを使用し、メイクおよびアクセサリーで感性に富んだ独自の創造性・芸術性のある作品を制作するものである。

作品は競技当日持参し、審査を行う。(未発表作品に限る)

《出場資格》 茨城県内に居住または勤務する美容師ならび美容学生で、エントリー料を納付し選手登録を完了した者。

《テーマ》 フリー

(2) 作品の提出等

- ① 作品は選手1名につき1作品とする。
- ② 作品の裏に店名(学校名)、氏名を明記すること。
- ③ 作品は、大会当日に持参すること。
- ④ 搬送中の事故や破損には責任を負いかねるので、十分に注意して持参すること。

(3) 競技に関する制限及び禁止事項(違反した場合は、減点もしくは失格となる)

- ① A3サイズ(297×420mm)のベニア板または段ボール紙を土台とし、その上に既定のマスクを固定し、その枠内で作品を作ること。
- ② 作品制作には当組合指定の「メイクマスク」を使用する。「メイクマスク」はエントリー料に1台含まれるが、追加の場合は1台1,080円(送料別途)かかる。
- ③ 台紙の色の指定はないが、ヘアメイクデザインの判るものとする。

(4) 審査基準

一般投票ならびに審査員による採点で審査を行う。

※表彰式に際して、ピンヒールなど踵の細い靴は登壇厳禁ですのでご配慮ください。

◇フォトコンテスト競技規則

《出場資格》 茨城県内に勤務または居住する美容師で、エントリー料を納付し選手登録を完了した者。

《作品テーマ》 「最&高」
出展者がイメージする「最&高」をインスタ映えする映像として表現する。

《競技に関する制限及び禁止事項》（違反した場合は、減点もしくは失格となる）

- ① モデル（性別は問わない）を使用した未発表の作品とする。
- ② ヘアーカー、メイクを含め、トータルな技術や表現力を審査する。
- ③ 写真は、四つ切りサイズまたはA4サイズ、構図は全身もしくは上半身。リバーサルフィルム、デジタルカメラ可。インクジェット印刷は可。
- ④ エントリーは1選手・2作品までとする。
- ⑤ 写真（作品）は、裏に住所、氏名、勤務先名を記入し、封筒に厚紙を入れ“二つ折厳禁”と明記した上で、大会事務局に郵送または持参する。
- ⑥ 大会主催者は、エントリーされた作品の写真使用权を有する事とする。
- ⑦ 一般投票ならびに審査員による採点で審査を行う。

(3) 作品受付 平成30年7月10日（火）必着

※表彰式に際して、ピンヒールなど踵の細い靴は登壇厳禁ですので、ご配慮ください。

* 作品送付先* 〒310-0817 水戸市柳町1-13-21
茨城県美容組合・大会事務局